

「日本最北のお酒造り最前線」



ここ数年で道北に日本最北のワイナリーとブルワリーが立ち上がり、さらに続々とお酒造りの動きが続いています。この講演会では、道北でお酒造りに関わる人々に事例発表を行っていただき、あわせて、道北の地域振興を考える研究会で以前議論した天塩川テロワール構想もあらためてご紹介することで、道北の、あるいは天塩川流域のお酒文化・食文化について考える機会にしたいと思っています。

日時：**11月17日(木)18:00-20:00**（開場**17:30**）

場所：名寄市立大学図書館大講義室、YouTubeLive配信

**参加
無料**

※申込みは11月14日までに右のQRコードからか、

申込みフォーム<https://forms.gle/sbrG2mG6PUhh8kvN6>からお願いします。

電話、FAXで申込みの方は、氏名、お住まいの自治体、電話番号、メールアドレス、参加会場をお知らせください。



問い合わせ・申し込み先

名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター

E-mail: event@nayoro.ac.jp

Tel. 01654-8-7661（直通） Fax. 01654-2-0070

当日の内容

- ・趣旨について 奈須 憲一郎（下川町eggplant 代表・道北の地域振興を考える会 会員）
- ・基調講演 天塩川テロワール構想 清水池義治（道北の地域振興を考える研究会 会長）
- ・事例報告

1. 株式会社 森臥（ワイン・名寄市）	代表取締役 竹部 裕二
2. 株式会社 美深白樺ブルワリー（ビール・美深町）	代表取締役 高橋 克尚
3. 株式会社 志BETSホールディングス土別サムライブルワリー（ビール・土別市）	醸造長 風間 健
4. 一般社団法人EZOUSAGI（クラフトジンリキュール・下川町）	理事 倉澤 晋平
5. 有限会社さっぷ 白樺スピリッツプロジェクト（木の酒・美深町）	研究員 野崎 知真
- ・総合討論

主催：道北の地域振興を考える研究会

共催：名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター